環境というのは、将来に向かって大変すばらしい。これも市民に均等なサービスと考えれば、光ケーブルがあるところ、ないところというよりは、市全体に光ケーブルが引かれていてもおかしくないと考える。この投資については、将来に向かっての投資とはなり得るものだと思う。できるだけ早くブロードバンド環境を整えるということについては、しっかりと私としても方針の一つなので、努力をしてまいりたい。

公明党　関連質問

市川　陽子　議員

●入札について

Q 市の例規集に山武市特定建設工事共同企業体取扱要綱が掲載されている中、9億300万円かかる成東東中学校の建設に対しての地元業者との契約について。

A 財政課長　共同企業体での入札は手続等に時間がかかるため、期間的に難しかった。

Q 合併時に要綱ができているのになぜ準備や研究を行う事ができなかったのか。今後、さんぶの森交流センター建設、南郷・鳴浜・緑海小学校の体育館改築に対しての考え方について。

A 市長　法令を遵守し、競争性、透明性の確保を前提としている。JVは、地域振興に繋がれば積極的に取り入れていく姿勢です。

Q さんぶの森交流センターI建設の入札資格のある市内建設業者について。

A 財政課長　国家資格のある技術者を専任で配置する必要があるので、非常に少ない状況です。また、共同企業体は担当課と十分協議を行う。

●安全・安心な武道場について

Q 武道を学習指導での取り組や伝統を受け継ぎ大会で優秀な成績を残している学校等と格差があります。そこで、剣道の防具や竹刀の補修や新たな整備等について。

A 教育部長　平成22年度予算に剣道の防具一式、柔道着の購入を要求予定です。剣道は、6校全校、柔道は、3校で蓮沼中学校は、畳も購入します。

Q 柔道部が学校内で活動に取り組める安全確保について。

A 教育部長　成東東中学校は、今まで柔道場はプレハブで対応していたが建設のために今、鳴浜体育館を利用している。しかし、部活と社会体育が一緒になると弊害があり、校舎が完成した中で学校敷地内に確保します。

●Hibワクチンの助成について

Q 1998年にWHO（世界保健機関）が乳児の定期接種に加えるようにと声明を出していましたが、日本での認可は2年前です。市における周知徹底方法について。

A 保健福祉部長　医師会等との調整を図る。

Q お母さんが普通の風邪だと思い、2歳のお子さんを最寄りの病院で診てもらっても、原因がわからず3つの病院を転々として、医師からは1日遅れたら、脳に障害が残ったと言われたそうです。今後、市の助成の段階的な導入について。

A 市長　子供の健康を守るという立場からもう一度医師会等と協議し、ワクチン接種について考え方をまとめたい。

公明党　関連質問

川原　春夫　議員

●校庭・グラウンドの芝生化対策における地域との協働作業の進め方について

Q 芝生化を進めるためには、何よりも市民との協働作業が不可欠でありますが、芝生化を試験的に進める場合に適した場所を市は提供していただけますか。又、経費面については、どのようにお考えになりますか。

A 教育部長　山武中学校の反対側にさんぶの森多目的広場というものがあります。そこには井戸はありません。中学校からの井戸ということの問題はありますけれども、不可能ではないなというような気がします。公園管理事務所の管轄・管理になっております。そちらのほうには原材料費もございますので、少々のところであれば、譲り合わせができるのではないかと思われます。経費の面ですが経費自体が無駄にならなければ管理事務所としても、前向きに検討するものと思います。

●肺炎球菌のワクチンの助成について

Q 高齢化の進む中、高齢者の大敵である肺炎に対して、本市ではどのような対策を考えておられるのでしょうか。

A 市長　特に肺炎対策というようなものについて、今まで取り組んでおりません。

Q 予防医学という見地からも、ワクチン接種対策は非常に重要であると考えますが、どのように思われますか。

A 市長　医師会のほうとも綿密に連絡をとりながら、また対策を練るべきであるという御指摘もいただいた上で、この問題についても、地域の医師会の方々の御意見も十分聞きながら対応していきたいと考えています。

●地デジ対策の現状と今後の市の対策・取り組みについて

Q 職員の皆様の協力のもと、多くの情報の収集がなされたと伺っております。その結果を今後どのように生かしていこうと計画されておられるのかお尋ねします。

A 総務部長　ほぼ全域をカバーする情報が集められ、それを基にして対応を調整する窓口を企画政策課で行って